



# 初日の出に賑わう

## 「三保松原の海岸景観・保全対策」

### 静岡県交通基盤部理事兼沼津土木事務所長

### 池ヶ谷 規文



ここでは小生の水系分野を中心とした職38年間の代表的な水防対策施設の歩みを述べる。

1清水海岸との関わり  
平成初期、河川課の技師で、県内の建設海岸担当者として、清水海岸侵

食対策事業のヘッドランド工法の全体計画に携わった。

のちに、世界文化遺産「富士山」の構成資産となつた「三保松原保全対策」の既設消波堤によるヘッドランド工法を、25年後、静岡土木事務所

の構成施設は、静岡海岸の前浜回復に寄与した離岸堤の異型ブロックを、消波堤群で複数並べ、岬を創るよつなものであった。

この構成施設は、静岡海岸の前浜回復に寄与した離岸堤の異型ブロックを、消波堤群で複数並べ、岬を創るよつなものであった。

この構成施設は、静岡海岸の前浜回復に寄与した離岸堤の異型ブロックを、消波堤群で複数並べ、岬を創るよつなものであった。

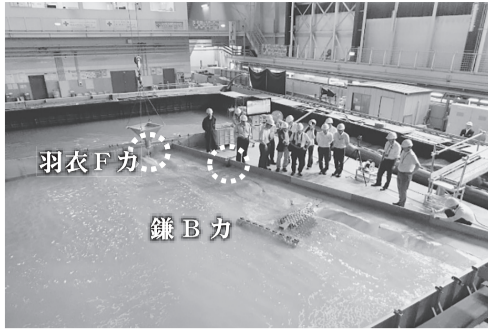
この構成施設は、静岡海岸の前浜回復に寄与した離岸堤の異型ブロックを、消波堤群で複数並べ、岬を創るよつなものであった。

この構成施設は、静岡海岸の前浜回復に寄与した離岸堤の異型ブロックを、消波堤群で複数並べ、岬を創るよつなものであった。

この構成施設は、静岡海岸の前浜回復に寄与した離岸堤の異型ブロックを、消波堤群で複数並べ、岬を創るよつなものであった。

この構成施設は、静岡海岸の前浜回復に寄与した離岸堤の異型ブロックを、消波堤群で複数並べ、岬を創るよつなものであった。

水理模型実験による堆砂性能の確認



羽衣Fカ  
鎌Bカ

「土木」は元来「普請」であり、くらしや経済社会のニーズに応じて技術開発を進めながら社会の発展に貢献してきたが、これからは斬新で他地域の参考となる内容であった。

「土木」は元来「普請」であり、くらしや経済社会のニーズに応じて技術開発を進めながら社会の発展に貢献してきたが、これからは斬新で他地域の参考となる内容であった。

「土木」は元来「普請」であり、くらしや経済社会のニーズに応じて技術開発を進めながら社会の発展に貢献してきたが、これからは斬新で他地域の参考となる内容であった。

「土木」は元来「普請」であり、くらしや経済社会のニーズに応じて技術開発を進めながら社会の発展に貢献してきたが、これからは斬新で他地域の参考となる内容であった。

「土木」は元来「普請」であり、くらしや経済社会のニーズに応じて技術開発を進めながら社会の発展に貢献してきたが、これからは斬新で他地域の参考となる内容であった。

「土木」は元来「普請」であり、くらしや経済社会のニーズに応じて技術開発を進めながら社会の発展に貢献してきたが、これからは斬新で他地域の参考となる内容であった。

「土木」は元来「普請」であり、くらしや経済社会のニーズに応じて技術開発を進めながら社会の発展に貢献してきたが、これからは斬新で他地域の参考となる内容であった。

「土木」は元来「普請」であり、くらしや経済社会のニーズに応じて技術開発を進めながら社会の発展に貢献してきたが、これからは斬新で他地域の参考となる内容であった。

「土木」は元来「普請」であり、くらしや経済社会のニーズに応じて技術開発を進めながら社会の発展に貢献してきたが、これからは斬新で他地域の参考となる内容であった。

「土木」は元来「普請」であり、くらしや経済社会のニーズに応じて技術開発を進めながら社会の発展に貢献してきたが、これからは斬新で他地域の参考となる内容であった。

## 「市民普請」と「くらし&『土木』のシンフォニー」

### 芝浦工業大学客員教授

### 谷口 博 昭



11月18日「土木」の日から土木学会創立記念の24日まで「くらしと土木の週間」であり、「土木」の理解を深めていただくため全国各地でさまざまな事業が開かれた。

11月14日に開催された土木の日シンポジウム2021「グリーンインフラと市民普請」に土木学会会長としてあいさつした後、基調講演と事例紹介を聴講した。真田純子東工大准教授の基調講演

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

散乱はあるものの、前浜消失による海岸堤防本体の被災はない。

三保松原付近の既設ヘッドランド工法は、天女が舞い降りるよう、従前からピッチ間隔を空け景観に配慮してきたが、世界文化遺産登録時、既設ブロックが富士山の眺望になヘッドランド工法を提案し、のちに養浜を組み合わせた。この工法を推し進めた。

ある程度の侵食を許容し、局所の侵食を抑え、侵食の均等化を狙った先行防衛工法である。

この構成施設は、静岡海岸の前浜回復に寄与した離岸堤の異型ブロックを、消波堤群で複数並べ、岬を創るよつなものであった。

この構成施設は、静岡海岸の前浜回復に寄与した離岸堤の異型ブロックを、消波堤群で複数並べ、岬を創るよつなものであった。

この構成施設は、静岡海岸の前浜回復に寄与した離岸堤の異型ブロックを、消波堤群で複数並べ、岬を創るよつなものであった。

この構成施設は、静岡海岸の前浜回復に寄与した離岸堤の異型ブロックを、消波堤群で複数並べ、岬を創るよつなものであった。

この構成施設は、静岡海岸の前浜回復に寄与した離岸堤の異型ブロックを、消波堤群で複数並べ、岬を創るよつなものであった。

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

「自然のなかでいける技術のあり方を問う」は示唆に富む講演だった。石積みという伝統的技術が、セメントの規格化とコンクリートの標準化に伴い、経験的・理論的でないという理由からコンクリート擁壁という近代土木技術に駆逐されてきた経緯を説明。市民普請による石積みの事例を基に、数値で評価できない経験知による「自然のなかで生きる」「伝統的技術を再評

生コンの御用命は下記の会社をご利用下さい

**熱海生コンクリート販売協同組合**  
事務所 伊東市吉田字長畑道上1026-37 電話(0557)44-4411

組合員

- 真鶴生コンクリート(株) 神奈川県足柄下郡真鶴町真鶴1898 TEL(0465)68-1171
- 株サキ工業(株)生コン工場 伊東市萩395 TEL(0557)37-8585
- 株しょうじ建設(株)函南生コン 田方郡函南町経井沢226-1 TEL(055)974-0226
- 株新明通産 伊東市吉田字長畑道上1026-37 TEL(0557)45-3433
- 野村マテリアルプロダクツ(株) 湯河原工場 熱海市曾我山1993 TEL(0557)82-1244
- 野村マテリアルプロダクツ(株) 新野村工場 伊東市吉田字長畑道上1026-37 TEL(0557)45-1366
- 野村マテリアルプロダクツ(株) 熱海工場 熱海市曾我山1993 TEL(0557)82-1244
- 株富士宇部 東伊豆工場 賀茂郡東伊豆町福取2230-1 TEL(0557)95-3168
- 株稲村生コンクリート(株) 熱海市上多賀457-1 TEL(0557)68-1621

鉄骨のご用命は当社へ

国土交通大臣認定工場Mグレード

**株式会社 大城工業**  
代表取締役 大城 英一  
住所 伊豆の国市神島49-1 〒410-2325  
TEL 0558(76)-3299  
FAX 0558(76)-5007

**マンション計画修繕工事**  
調査診断・改修工事、保全まで

責任施工・工業会会員

- ・コニシシステム工業会会員
- ・全国ハーゲン防水美装工業会会員
- ・イサムエラストマー会会員
- ・リポールマイティ工業会会員

**株式会社 トック**  
静岡県三島市川原ヶ谷230番地の3  
TEL 055-973-2056 FAX 055-973-2076

**電気設備工事 設計施工**

**株式会社ダイナナ**  
代表取締役社長 内田 豪  
本社 三島市梅名371-2  
電話(055)977-3511(代)  
熱海営業所・厚木支店

**大野電機工業株式会社**  
代表取締役 大野 文男  
三島市南二日町24-27 電話(055)975-1040(代)

きんわ  
**近和電業株式会社**  
代表取締役 今瀬 誠  
支社 静岡県三島市平成台8番地  
TEL(055)986-5211(代)  
静岡本社・東京支社

# 小窓

去年の春に寄稿したコラムで「最近キャンプにハマってしまっている……」なんてことを書かせていただきましたが、それからはや八か月。寒風吹きすさぶ11月に富士山のふもとにて念願



のソロキャンプデビューを果たすことができましたので、こちらでご報告を兼ねて書き起こさせていただけます。そもそも「ソロキャンプとはなんぞや?」というところからの説明なのですが、読んで字のごとく一人でキャンプを行うことです。もちろん昔からあったキャンプスタイルだとは思いますが、ここ数年のキャンプブームでは火付け役の「ヒロシ」さんがよく知られていて話題になってきたスタイルです。自分は今もと家族でキャンプしたことしかなかったのですが、一人で言うキャンプというのにはあまり魅力を感じていなかったのですが、Y

outubeなどで一人焚火と向き合うソロキャンプを見るにつれ興味を感じておりました。幸いソロキャンプをやるのに特別なキャンプ道具は必要ありません。

ソロキャンプ当日は田貫湖近くのキャンプ場に行き、昼過ぎから設営を行い、そのあとゆっくりとソロキャンプを堪能させていただきました。ソロキャンプの正直な感想ですが、と

時間がかりません。暗くなれば焚火を楽しむこともできますが、あまりに早い時間で設営が済んでしまったので、歩いて10分ほどの田貫湖まで散歩に行ってしまうました。

持ち込んだ食材を焼きながら一人きりのキャンプを楽しみました。ちなみに僕はキャンプのときはお気に入りのレトルトカレーを用意して、それをいただくことを一番楽しんでいました。

この日も焚火でお湯を沸かし、そこにレトルトのご飯とレトルトカレーを放り込んでワイルドにいただきます。そんな感じで僕のソロキャンプデビューは無事に済んだのですが、ここまで読んでいただいて「ソロキャンプ楽しいの?」と思われる方も多いかも思われます。正直、僕自身も身が読み返してみてもあまり楽しそうに見えない文章で、ある意味、自分自身が一番ビクビクしてしまいました。

でもこれだけは言えます。本当に楽しかったです。結びにしたいと思います。すし、これからもやっていきたいです。ただ焚火の炎を見ているだけの「なにもなくていい時間」がなんともいえず落ち着くんです。やっぱり人間って炎を見ないと安心する生き物なんでしょうか?みんながソロキャンプにハマる理由もなんとなくわかった気がします。

それでは最後に、ソロキャンプをやるのに一番大切なことは、道具でもなく、楽しみ方でもなく、快く送り出してくれる家族の存在だったりするんだなあ……ということに結びにしたいと思います。

## ソロキャンプデビューしたお話

三建広報委員 櫻井 剛  
(株)海野建設

基本的な普段のキャンプ道具を使いまわせばよく、まあ強いて言えばテントを一人で設営しなければならぬので小さめのテントを用意したくらいで済みました。

御飯の準備やらでなんだかんだと忙しく過ごしていましたが、ソロキャンプだと設営はあっという間だし、食事もお弁当なら自分の分だけ作れば良いので、ほとんど

この日も焚火でお湯を沸かし、そこにレトルトのご飯とレトルトカレーを放り込んでワイルドにいただきます。

でもこれだけは言えます。本当に楽しかったです。結びにしたいと思います。

すし、これからもやっていきたいです。ただ焚火の炎を見ているだけの「なにもなくていい時間」がなんともいえず落ち着くんです。やっぱり人間って炎を見ないと安心する生き物なんでしょうか?みんながソロキャンプにハマる理由もなんとなくわかった気がします。

それでは最後に、ソロキャンプをやるのに一番大切なことは、道具でもなく、楽しみ方でもなく、快く送り出してくれる家族の存在だったりするんだなあ……ということに結びにしたいと思います。

# 歴史よもやま話 228 信長に仕えた黒人侍「弥助」

和泉 清

堺市博物館所蔵の「相撲遊楽図屏風」には、中央に相撲を取る二人の力士が描かれ、それを眺める信長の姿や控える力士10人が描かれている。注目されるのは取組中の左側の力士が、黒い肌に着る髪、高い鼻など、明らかに日本人とは異なる人種の特徴で描かれていることである。彼ら一体、いかなる人物なのだろうか。

天正9年(1581)2月23日、本能寺に滞在の信長は、イエズス会巡察使・ヴァリニャーノに謁見した。その際彼はヴァリニャーノの従者の一人に瞳目した。「信長公記」には「切支丹国より黒坊主参り候」と記述され「十人力の剛力、牛

182cm(6尺2寸)の筋骨隆々の姿に信長はすっかり魅了されたが、初めて黒人を見た彼は、肌色を塗っているのではいかと疑い、湯殿で洗わせたところ、より一層黒く光ったのを見て納得したという。

信長はヴァリニャーノからこの黒人を譲り受け「弥助」と名付けて自分の側近に加えた。弥助の出自については

パチカンのイエズス会文書館に残るヴァリニャーノの書簡から知ることができ、それによると当時ポルトガル領だったモザンビークで生まれ、部族抗争で敗れ奴隷となつたポルトガル軍司令官に買い取られ、ヴァリニャーノに寄贈された。

弥助はヴァリニャーノの奴隷となり従者を務めながらポルトガル語やヨーロッパの生活風習を身

につける一方、ゴアでは聖パウロ学院に学び、軍事訓練も受けている。つまり、カトリック教徒の武人、教養のあるボディガードであった。

信長も弥助を重用し常に連れ歩き、屋敷や緑を与え、道具係として安土城下に住ませている。甲州の武田勝頼討伐にも側近として従軍、そのうち城持ち大名になるだろうと噂されたという。当時の日本人には好奇心はあっても人種差別感はなく、ましてや能力主義の信長に仕えた弥助は幸運であったといえる。しかし1年4カ月後の本能寺の変で弥助の運命

は一変する。信長の盾と簡にある「くろぼう(黒)坊」が日本人の妻を持ち、光秀に助命された後、南蛮寺のイエズス会に注目したい。

弥助は日本で平穏な余生を送り、その子孫が今も、どこかで暮らしているのかもしれない。



相撲をとる弥助

『優良産廃処理業者認定制度』静岡県知事認定取得第一号  
◆優良認定制度は、優良な産廃処理業者への処理委託を推進することによって排出事業者の環境への配慮を促進する目的で定められています。

全国産業廃棄物連合会『優良事業所』表彰

電子マニフェスト即対応 (JWNET,e-reverse,e-マニフェスト) 工場見学随時受付

**TRANSYS セキトランスシステム**  
SEKI  
HP <http://www.sekitransys.co.jp>  
本社 / 〒411-0933 静岡県駿東郡長泉町納米里515-1 TEL (055) 988-6868

TECPAL  
〒411-0944 静岡県駿東郡長泉町原 383-6  
TEL/FAX 055-972-2560  
URL: <https://tecpal.jp>

amazon 楽天市場 アクアスペース 楽天市場

こちらで販売中

テクパル【住宅設備機器販売部】  
タッチレス方式トイレトペーパーホルダー サリライナー  
キッチンバス 新日常品

感染予防! 接触回避!

総合資格学院は  
1級建築士  
合格実績 **No.1**

2018~2014年度  
1級建築士  
学科・設計製図試験  
全国ストレート  
合格者占有率 **61.9%**

いま描いているのは  
私の未来だ。

1・2級建築士 施工管理技士

**総合資格学院**

JIS工場からより良い製品をお届けします。  
コンクリート製品の御用命の筋は  
下記の会社へ是非共お願い致します。

(営業品目)  
土木用間知ブロック・道路用製品他

**土屋建材** 株式会社  
**屋尾工業** 株式会社  
**土管** 株式会社

**SHINKO**

土木/解体工事・不動産事業

本社:伊東市富戸1091-7 TEL0557-51-4755  
工事部:伊東市吉田920-40 TEL0557-51-4362

産業廃棄物運搬・処分  
処分場:伊東市富戸1285-17 TEL0557-51-4722

**(株)新光重機土木**



2024年の「パリ五輪の開催ビジョン」が発表された。

それによれば、パリ2024は、これまでで最もサステイナブル(持続可能)で、しかも二酸化炭素の排出量の画期的な削減戦略を採用するとしている。

フランス事情⑦

タヒチで「パリ五輪？」

三建会長 小野 徹



「アンヴァリッド」でアーチェリーを、以下、パリ市内の既存施設での競技名が続き、パリ以外の地区としては、せめてもの国内的配慮であらうか、「リヨン」、「ボルドー」、「マルセイユ」等でサッカーが行われるとし、最後の最後に、何と、「タヒチ」でサーフィンと書

である既存の施設を利用し、例外として新設されるオリンピック村は、中心部からわずか15分の場所に、かつての「ラ・デフランス」にみられるような、パリの長期的な開発計画にのっとって建設するとしている。

そうした方針を徹底するかのうちに、開会式もセーヌ川を使って行うとし、入場行進は、オステルリッツ橋から、ノートルダムやルーヴル美術館の横を通って、イエナ橋までの6キロの区間を、船で下って、市民や遠来の観客には、河岸や橋から、無料で見物してもらおうという算段だ。

「東京」五輪のマラソンを「札幌で」なんてもんじゃない。「パリ」の筈が、「タヒチで！」なのだ。

「七年戦争」は、英仏の対立を軸に、1756年から1763年まで行われた実質的な世界大戦であったが、これに勝利したイギリスの飛躍と、フランスのインドや北米の植民地からの敗退を決定づけるものになった。

2024オリンピックはパリで開かれる

この戦争時の巨額の債務が「フランス革命」を命を呼ばれるタヒチを初めて訪れたのは、1768年、サミュエル・ウオリス(英)で、ウオリスはタヒチを「国王ジョージ3世島」と命名し、英国

航海などで、南太平洋の島々や、ニュージブラールド、オーストラリアを発見・探索するなど、以後の英国のオセアニア・南太平洋での覇権を確立していった。

そうしたことから、今年には、タヒチにもお定まりの宣教師団を送り込んだものの、伝統文化

「七年戦争」は、英仏の対立を軸に、1756年から1763年まで行われた実質的な世界大戦であったが、これに勝利したイギリスの飛躍と、フランスのインドや北米の植民地からの敗退を決定づけるものになった。

その上、フランスは、

「七年戦争」は、英仏の対立を軸に、1756年から1763年まで行われた実質的な世界大戦であったが、これに勝利したイギリスの飛躍と、フランスのインドや北米の植民地からの敗退を決定づけるものになった。

その上、フランスは、

「七年戦争」は、英仏の対立を軸に、1756年から1763年まで行われた実質的な世界大戦であったが、これに勝利したイギリスの飛躍と、フランスのインドや北米の植民地からの敗退を決定づけるものになった。

その上、フランスは、



ゴーギャン「タヒチの女(浜辺にて)」

この戦争時の巨額の債務が「フランス革命」を命を呼ばれるタヒチを初めて訪れたのは、1768年、サミュエル・ウオリス(英)で、ウオリスはタヒチを「国王ジョージ3世島」と命名し、英国

航海などで、南太平洋の島々や、ニュージブラールド、オーストラリアを発見・探索するなど、以後の英国のオセアニア・南太平洋での覇権を確立していった。

そうしたことから、今年には、タヒチにもお定まりの宣教師団を送り込んだものの、伝統文化

「七年戦争」は、英仏の対立を軸に、1756年から1763年まで行われた実質的な世界大戦であったが、これに勝利したイギリスの飛躍と、フランスのインドや北米の植民地からの敗退を決定づけるものになった。

その上、フランスは、

「七年戦争」は、英仏の対立を軸に、1756年から1763年まで行われた実質的な世界大戦であったが、これに勝利したイギリスの飛躍と、フランスのインドや北米の植民地からの敗退を決定づけるものになった。

その上、フランスは、



「天国に一番近い島」ニューカレドニア

この戦争時の巨額の債務が「フランス革命」を命を呼ばれるタヒチを初めて訪れたのは、1768年、サミュエル・ウオリス(英)で、ウオリスはタヒチを「国王ジョージ3世島」と命名し、英国

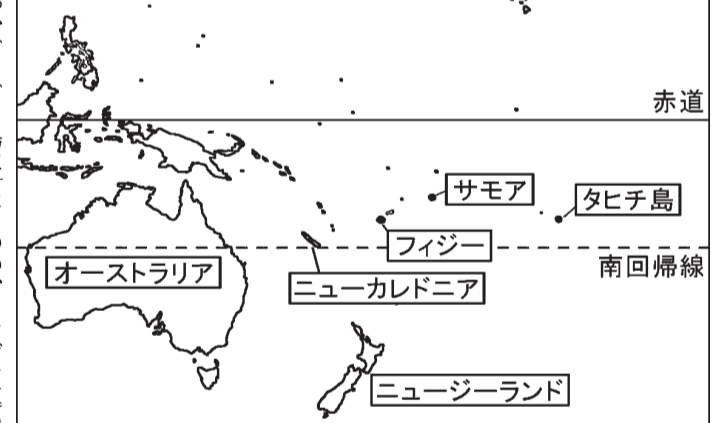
航海などで、南太平洋の島々や、ニュージブラールド、オーストラリアを発見・探索するなど、以後の英国のオセアニア・南太平洋での覇権を確立していった。

そうしたことから、今年には、タヒチにもお定まりの宣教師団を送り込んだものの、伝統文化

この戦争時の巨額の債務が「フランス革命」を命を呼ばれるタヒチを初めて訪れたのは、1768年、サミュエル・ウオリス(英)で、ウオリスはタヒチを「国王ジョージ3世島」と命名し、英国

航海などで、南太平洋の島々や、ニュージブラールド、オーストラリアを発見・探索するなど、以後の英国のオセアニア・南太平洋での覇権を確立していった。

そうしたことから、今年には、タヒチにもお定まりの宣教師団を送り込んだものの、伝統文化



近未来型 鉄骨加工工場

近藤鋼材株式会社

沼津営業所 沼津市沼北町2-2-16 TEL 055-925-1900  
静岡営業所 静岡市駿河区丸子6280-1 TEL 054-256-1200  
渡邊鐵工所 藤枝市善左衛門1471-12 TEL 054-634-3211

●JIS工場からより良い製品をお届け致します。

静岡県東部生コンクリート販売協同組合

事務所 沼津市大岡517-4 鈴福ビル2F  
電話(055)955-6600 FAX(055)955-6601

組合員

(株)イワタ沼津工場 二葉建設(株)生コン部  
東宏生コンクリート工業株式会社 静岡生コン(株)  
三島生コン(株) 野村マテリアルプロダクツ(株)伊豆さくら工場  
(有)高田建材 裾野生コン(株)  
小野建設株式会社 渡邊工業株式会社  
修善寺生コン工場 第一生コン工場  
有限会社長岡生コンクリート (株)タカムラ生コン  
新スルガ生コン(株) (株)古藤田生コン  
(株)広川生コン

水と空気 人を育む環境を求めて

株式会社 ワールドエンジニアリング

本社/〒411-0816 静岡県三島市梅名371-2  
TEL.055-984-1244 FAX.055-984-3154  
横浜支店/〒224-0024 神奈川県横浜市都筑区東山田町1610-1  
TEL.045-594-7892 FAX.045-594-7893  
厚木支店/〒243-0815 神奈川県厚木市妻田西1-25-14  
TEL.046-297-7622 FAX.046-297-7633

建設業許可番号/国土交通大臣許可(特)第22830号 管工事業(般)第22830号 電気工事業

創業100年・最新技術・末永いサービス  
省エネと生活環境の向上を提供

空調・給水・給湯・衛生・上下水道・防災設備・設計・施工

片野設備株式会社  
代表取締役社長 片野 彰一

ISO 9001 認証取得  
〒411-0035 静岡県三島市大宮町3-3-12 TEL 055-971-2205(代) FAX 055-973-5246  
E-mail: info@katanosetubi.co.jp URL http://www.katanosetubi.co.jp